



多職種連携で支える 災害医療

身につけるべき知識・スキル・対応力

小井土雄一/石井美恵子＝編著

本体 2700 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5600

東日本大震災から6年、貴重な実災害例をもとに、医療・看護の世界でも、さまざまな検証が蓄積されてきた。本書は『看護教育』誌に連載された「ひろがる災害医療と看護」から、今後に生かすべき普遍的内容を精選し、さらに多職種による多角的知見を加えて編集された。地域から地方自治体、国に至るまでの面を視野に、医療関係職による初期対応から、長期にわたる住民ケアへの時間軸を考へに入れた「これからの災害医療」を解説する。

介護する息子たち

男性性の死角とケアのジェンダー分析

平山 亮＝著

本体 2500 円＋税

勁草書房 ☎ 03-3814-6861



親の老いに直面し、要介護の親を世話する息子が、どのように介護を経験し、それを語るのか。本書は、そうした「介護する息子の語り」の視点から「男らしさ」の規範、その規範の生まれる背景を照射する。介護する息子の語りから導き出された考察は、在宅ケアに関わる人の「介護する息子への眼差し」を変える。

超・開業力

在宅医療・クリニック経営の新常識と新城式

新城拓也＝著

本体 3500 円＋税

金原出版株式会社 ☎ 03-3811-7184



在宅医療における「多職種連携」や「医療の質を保つには」などの課題をどのように解決していけばよいのか。本書では、勤務医を経て在宅医療専門クリニックを開業した著者が、開業の準備や開業後の業務をどのように進めるかといったノウハウを詳述。医師だけでなく、在宅医療に携わる医療従事者にも役立つ内容が、わかりやすく解説されている。

いのちつぐ「みとりびと」

第3集4巻セット

國森康弘＝写真・文

本体 4 巻セット 7200 円＋税(各巻 1800 円＋税)

農村漁村文化協会 ☎ 03-3585-1141



病や障がいがある人と、住み慣れた地域でその人らしく生きる。その姿を撮り続けてきたフォトジャーナリスト・國森氏が第3集でレンズを向けたのは、大都市・東京のホームホスピスだ。お年寄り同士、家族同士、職員たちが大きな親族・家族のようにつながる姿は、自宅とはまた異なるもの。緩やかで、温かな「とも暮らし」の日常を掬い出す。

障がいのための就活ガイド

紺野大輝＝著

本体 1800 円＋税

左右社 ☎ 03-3811-7184



障がいの者の就労支援。その意義は理解されるものになったが、ではその一歩目として何が求められるのか。採用までに何が必要になるのか。本書は、障がいをもつ当事者として就職活動を行ない、現在では就労支援も担う著者による実践的な解説本だ。就活を考える当事者にも、一般企業への就活事情に明るくない専門職にとっても役に立つ内容となっている。